

## 新潟市北区文化会館 “平成 22 年度” 自主事業完了報告書

平成 22 年度の会館自主事業は鑑賞事業 6 本、交流・発信事業 2 本、アウトリーチ 3 プログラム、ワークショップ 1、創造事業 1 が行なわれた。

### ー鑑賞事業ー

#### ■ 『ムッシュかまやつ&泉谷しげるトーク&ライブ』

公演日：8 月 21 日（土）開演 16：00～

入場料：前売り 5000 円、当日 5,500 円。

出演：ムッシュかまやつ、泉谷しげる、藤沼伸一（ギター）、小島可奈子（司会）

<入場者数 382 人>

普段それぞれの活動を行なう二人が、歌と台本なしの本音トークの 2 時間ライブ。観客は団塊世代から、さらに年配者が多く見られた。泉谷氏が舞台上から、「お前ら北区文化会館を大切にしろよ」などと言葉こそ荒いが励ましのエールを送ってくれた。地域のチケット発売所として、小日向電気店が協力を申し出てくれた。

#### ☆広告宣伝・TV スポット（NST テレビ放送回数 18 本）

・TeNY テレビ新潟「夕方ワイド新潟一番」にスタッフが宣伝の為出演。

・ポスター100 枚、チラシ 10,000 枚を印刷。

ポスター・チラシの掲示及び配布先：新潟県民会館など県内公共施設、北区内公共施設、駅、中学校、高校、大学、セブンイレブンなどの店舗、新潟市ハイテクポート協同組合などの企業、フォーク・ジャンボリーなどのイベント会場、新発田市、阿賀野市役所などの近郊。

#### ■ 『鈴木理恵子（ヴァイオリン）と若林颯（ピアノ）のデュオ』

公演日：10 月 9 日（土）開演 14：00～

入場料：大人 3,000 円、高校生以下 1,000 円

<入場者数 172 人>

鈴木氏と若林氏は共に海外でも活躍中の、音楽的にも高い評価を受けているヴァイオリニストとピアニスト。文化会館での演奏会は、入場者こそ少なかったが、大変質の高い演奏会となった。アンコールも 1~2 曲にとどまらないなど、熱い拍手のなかで終演。

#### ☆広告宣伝・新潟日報「あーとぴっくす」のコラム掲載

・ラジオスポット（エフエムラジオ新潟 20 秒 20 本）

・FM 新発田に宣伝の為、スタッフが出演。

・ポスター100 枚、チラシ 31,000 枚を印刷。

ポスター・チラシの掲示・配布先：「全戸に配布」・聖籠町など新潟県内公共施設、豊栄図書館など北区内公共施設、駅、

競馬場、小中学校、敬和学園などの大学、ナミックス テクノコアなど企業、サークル K など北区内店舗 84 軒、五泉市・阿賀野市・新発田市などの近郊地。

### ■『満月～平成親馬鹿物語～』

公演日：11月19日（金）開演 19：00～

入場料：前売 4,000 円 当日 4,500 円

出演：菅原大吉、竹内都子

<入場者数 127 人>

実生活ではご夫婦の二人が、敵対する息子の母親と娘の父親を体当たりで熱演。人情喜劇の大御所作家 水谷龍二氏が親子の情愛を、笑いの中にすると忍び込ませた質の高い演劇。観客層は中高年が主であるが、竹内氏のファンであろう 30 代の女性の姿も見られた。「こんなに素敵なお芝居なのに、お客様が少なすぎる」とお叱りのご意見も多くいただいた。

☆**広告宣伝**・TV スポット 【UX21 テレビ】10 本

・ポスター100 枚、チラシ 10,000 枚を印刷。

ポスター・チラシの掲示及び配布先：村上市ふれあいセンターなどの新潟県内公共施設、北区内公共施設、中学校、川崎商会などの店舗、新発田市役所などの近郊公共施設、北区内の各家に 3,000 枚、ポスティングを行なった。

### ■『津軽三味線 木乃下真市コンサート』

公演日：12月23日（木祝）開演 14：00～

入場料：前売 4,000 円 当日 4,500 円

出演：木乃下真市（津軽三味線）上田秀一郎（和太鼓）

<入場者数 171 人>

津軽三味線全国大会で数々の賞を受賞した、100 年に一人の天才といわれた木乃下真市氏のコンサート、ゲストは和太鼓の上田秀一郎氏。木乃下氏の新作と上田氏の迫力ある太鼓の演奏に舞台と客席にはピンとした緊張感が漂っていた。と同時にホールの暖房が不十分であった為、演奏中に席を立つ人が多く、集中度が妨げられるという問題点が出てきた。

☆**広告宣伝**・ポスター100 枚、チラシ 31,000 枚「全戸に配布」

ポスター・チラシの掲示及び配布先：見附市文化ホールなど新潟県内公共施設、北区内公共施設、日本軽金属新潟工場などの企業・店舗、ピアノ教室・楽器店など音楽関連企業。

\* チケット発売所として、松浜の南呉服店が協力店に、松浜での宣伝活動の幅が一

歩広がる。

■ 第一回新春北区落語まつり

『春風亭昇太・国本武春二人会』→『春風亭昇太独演会』

公演日：平成 23 年 1 月 22 日（土）開演：14：00～

入場料：前売 3,500 円 当日 3,800 円

出演：春風亭昇太、三遊亭遊雀、春風亭昇也

<入場者数 368 人>

浪曲師国本武春氏急病の為、春風亭昇太独演会となる。ゲストに三遊亭遊雀さん。

12 月 19 日、春風亭昇太氏の所属事務所より国本武春氏急病の知らせがあり、公演の中止か、延期かを討議。会館としては、春風亭昇太氏の独演会を提案。事務所もそれを同意。1 月 2 日号に区報、1 月 5 日の新潟日報にて、お詫びの広報と広告を掲載。

ホールの空調について、業者にホールの暖房の温度調節をお願いし、寒さについては、大幅に解消された。更に、前日にホールを暖め、当日は早朝 7:00 より暖房を開始。ひざ掛けなどを用意し、希望者に貸与するなどの寒さ対策を実行。又、一度席を立った客が、上演中に堂々と入場してしまうことに対する会館側の対応についても指導も行なった。しかし、暖房の具合もよかった為か上演中の出入りは殆ど無かった。

☆**広告宣伝**・新発田市雑煮合戦会場にて、チラシ配布

・新潟日報有料広告

・ポスター100 枚、チラシ 31,000 枚印刷。

ポスター・チラシの掲示及び配布先：全戸に配布、新潟県内公共施設、区内内公共施設・店舗、新発田市、聖籠町、阿賀野市など近郊都市の公共施設及び店舗など。

\*野菜工房桃太郎がチケット販売協力店にと申し出てくれた。

■ 『忍たま乱太郎キャラクターショー・へムへムとあそぼう』

公演日：2 月 27 日（土）開演 11：30・14：00 2 回公演

入場料：大人・子供 1,500 円

<入場者数 午前 222 人 午後 146 人>

NHK 教育で、19 年間放送されている人気アニメキャラクターショー。幕開けは司会のお姉さんとクイズで盛り上がる。クイズに答えようとする子供たちと、保護者の歓声がホールに響き渡った。ボールリレーや、出演者たちとの握手など、ふれあいと、参加型の構成は、テレビやビデオなどと違ったナマの舞台の面白さを親子で体験してもらった。

☆**広告宣伝**・北区ふゆっこまつり会場にて、特大ポスターを作製のうえ、チラシ配布。

・ポスター100 枚、チラシ 10,000 枚印刷

ポスター・チラシの掲示及び配布先：新潟県内公共施設、北区内公共施設、新潟市、新発田市、阿賀野市、聖籠町の小学校・保育園に個別配布。

## －交流・発信事業－

### ■『北区音楽祭』

公演日：11月7日（日）開演 12：30～

入場料：無料

<入場者数（出演者・観客計 860 人）>

主催 北区音楽祭実行委員会／北区文化会館／豊栄地区公民館

出演団体 22 団体、三味線、琴、尺八、コーラス、ヒップホップなど北区で活動しているあらゆるジャンルの団体がその技術を競い披露した。従来の音楽祭よりは出演団体も増え、舞台設備の整った文化会館を支柱とした民間の文化団体のこれからの一層の活動が見込まれる。

### ■『五十嵐尚子・渡邊倫子ジョイントコンサート』

公演日：3月5日（土）開演 14：00～

入場料：大人 2,000 円 高校生以下 1,000 円

<入場者数 大人 281 人・高校生以下 4 人>

五十嵐尚子氏（ソプラノ）渡邊倫子氏（ソプラノ）斉藤美和子氏（ピアノ）の 3 人によるジョイントコンサート。

地域で活動しているアーティストを支援するプログラム。観客動員、選曲、進行など出演者と協議を重ねて、手作り感がいっぱい顔がみえるコンサートとなった。

☆**広告宣伝** ・ポスター100枚・チラシ5,000枚

ポスター・チラシの掲示及び配布先：新潟県内公共施設、新潟市内公共施設、大学・小中学校、北区内企業・店舗、音楽教室、楽器店、医院など

\*葛塚・木崎・岡方・長浦・早通コミュニティセンター、チケット販売協力開始。

プレイガイドや会館窓口まで足を運ぶことが困難な住民にチケット購入を簡単にしてもらうこと、より身近に文化会館を感じていただこうと、各コミュニティセンター長へ協力を依頼。快諾を得て、本公演より発売を開始。

## ー普及育成事業ー

### ■「邦楽ワークショップ 尺八と箏」

実施日：3月25日（金）19：00～ 初心者

3月26日（土）13：00～ 中級者

3月27日（日）10：00～ 中・上級者

受講料：各日 1,000円

講師：坂田誠山（尺八）、木村玲子（箏）

会場：練習室1

＜受講者数 25日7人／26日11人／27日10人＞

翌4月ホールで行なわれる「オーラJ北区公演」にむけて、オーラJ創立メンバーで尺八奏者として、世界的に活躍しておられる坂田氏と、新箏（にいごと）奏者の第一人者の木村氏のワークショップ。初心者には、尺八の名前の由来から箏爪のつけ方など巧みな話術と実演で所要時間はあっという間に過ぎた。中・上級者には、細かな指導がおこなわれ、参加者にとっては緊張の2時間であった。

3日間を通して、冒頭に東北大震災で被害にあわれた方たちのため、鎮魂歌が演奏された。

## ーアウトリーチー

アウトリーチとは、会館や劇場に来られない人々のために、プロのアーティストがその地域にでかけて、演劇や音楽の演奏をすることをいいます。文化会館の事業として平成22年度は、「リコーダー&リュート」「ヴァイオリンとピアノ」「ハーモニカ」の3プログラムが行なわれた。対象は北区内コミュニティセンター、小・中学校など参加費は大人、子供も同一料金100円。所要時間1時間。

### ■「リコーダー&リュート」

実施日：9月9日（木）～10日（金）

アーティスト：吉澤実（リコーダー）永田平八（リュート）

実施会場：9月9日（木）14：00～15：00、

岡方第二小学校体育館 〈参加者83名〉

：9月10日（金）10：00～11：00

南浜中学校体育館 〈参加者139名〉

：9月10日（金）14：00～15：00

早通中学校体育館 〈参加者436名〉

吉澤氏はNHK教育で講師を務めたり、世界的にも活躍しておられるリコーダー奏者。永田氏は舞台での音楽監督やオーケストラとの共演などで古楽器の魅力を伝えている。リコーダーは学校教育などで用いられ馴染みの多い楽器だが、想像を超える笛が登場し、生徒たちは興味深深。室内楽で用いられるリュートは体育館での演奏に向い

ているとはいえないが、参加者は静かに聴き入っていた。

#### ■「ヴァイオリンとピアノ」

実施日：10月7日（木）～8日（金）

アーティスト：鈴木理恵子（ヴァイオリン）若林 颯（ピアノ）

実施会場：10月7日（木）14：00～15：00

豊栄南小学校 音楽室 〈参加者 82名〉

：10月8日（金）11：00～12：00

豊栄高校 体育館 〈参加者 565名〉

：10月8日（金）14：00～15：00

岡方中学校 ランチルーム 〈参加者 129名〉

敷居が高いといわれるクラシックをより身近に感じてもらおうと、一流のアーティストによるアウトリーチ。気温の高さや条件の悪い体育館などでも楽器の美しさや、水準の高い演奏に生徒たちは充分堪能したようだ。学校からの呼びかけで、多くの保護者が参加してくれた。

#### ■「ハーモニカ」

実施日：10月28日（木）～29日（金）

アーティスト：あらいなおこ（ハーモニカ）嶋村よし江（シンセサイザー）

アコーディオン（井川由美子）

実施会場：10月28日（木）14：00～15：00

つくし保育園ホール 〈参加者 119名〉

：10月29日（金）10：00～11：00

長浦コミュニティセンターホール 〈参加者 76名〉

：10月29日（金）14：00～15：00

笹山小学校 北区文化会館 練習室1 〈参加者 88名〉

京都を中心に活動している演奏家集団。保育園の園児からコミュニティの年配者と幅広い参加者層にあわせてのトークや演奏が行なわれた。見慣れた楽器から繰り広げられる優れた演奏は、たかがハーモニカと思われていた人たちの思いを完全にひっくり返した。

### —創造事業—

#### ■「北区オリジナルミュージカル」

平成22年度6月、開館と同時に「北区オリジナルミュージカル」原案を市民より公募を開始。北区内外から応募数7本。平成23年1月塩原昭夫氏作「瀉のホタル」が選ばれた。この原案を基に8月に第一稿が出稿される予定。11月、本ミュージカ

ルの演奏のため、「北区フィルハーモニー管弦楽団」が結成された。市民が主役のオリジナルミュージカルの質を高める為、作家、作曲、演出、舞台監督、照明などは東京で活躍されているプロフェッショナルを招聘。平成23年2月には作家ら5人で福島潟や「潟のホテル」のモデルとなっているビオトープを見学。その後、指揮者ら関係者が作品の方向性などが話し合われた。

ミュージカル創作には、かなりの予算が必要とされる。入場料収入だけでは、(チケット代は1,000円の予定)制作は不可能である為、今年度より年300万円を経費として計上することとした。